

早急な修復が必要ですが、現時点では資金不足の為、開始時期は未定。

仁王門、屋根の修復、終了間近

〓十月末には、終了予定〓

昨年の七月より開始した仁王門の屋根の修復ですが、間もなく十月末には終了の予定です。

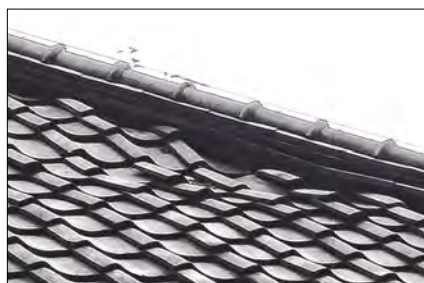
今回の修復工事は、横浜にある宮大工、伽藍工舎に依頼し、また、費用面では、国の『高付加価値化された文化財への改修・整備促進事業』の助成金を活用させて頂いています。

さて現在の修復状況ですが、前回お伝えした通り、屋根は全てガルバリウム鋼板で葺き替え、屋

大日堂本堂、屋根修復が急務

前回でもお伝えした通り、大日堂本堂の屋根の修復が急務になっていま

す。前回、堂内の天井板にも雨漏りの後があるとお伝えしましたが、再度、外から屋根を確認したところ、大棟から南西に下りてくる下り棟の、ちょうど雨漏りのあった天井の上辺りの瓦に、大きく崩れている箇所がある事が分かりました。(下の写真で確認下さい)この部分からの雨漏りである事



南西に下る棟の脇の瓦が崩れている

は、間違えなさそうです。これ以上、瓦が崩れると本格的な雨漏りとなり、取り返しがつかなくなっ

根上部に大棟を、傾斜部には下り棟などものせられ、大棟の両端には大鬼が、下り棟などには小鬼が取り付けられました。大棟への葵の御紋の取り付けは、これからです。そして、屋根の部材ですが、新しく取り換えた所は白木のままでしたので、外から見える部分に塗装を行い、全体に調和するようにしました。古い部材は、そのままです。修復が終わるまで、もう少しです。楽しみです。



大棟の両端に付ける『大鬼』



新しくなった『葵の御紋』

早急な修復を

現状を見る限りでは、屋根の西側の面の状況が良くないのですが、他の面にも波及しかねません。堂内の五智如来像や聖観音菩薩像に何かある前に、屋根の修復を行いたく、皆様のお力をお貸し頂けたらと思います。

てしまします。

また、以前からお伝えしている通り、北西の角の雨漏りも、大変な状況にあります。こちらは、建物の構造材や、縁板、十二支の彫り物などの腐りがひどい状態です。

閻魔詣

無事に開催

毎年恒例となった閻魔詣を、今年も八月十六日に開催しました。

昨年は台風で規模を縮小しての開催でしたが、今年は天候にも恵まれ、約三百人の方にご来場して頂きました。また、宝蓮寺で行われた、春風亭一左師匠による落語会も



閻魔提灯に飾られた閻魔堂

約六十人の方に聴いて頂く事が出来ました。ありがとうございました。



《大日堂》 これからの特別・一般公開予定

- 1 10月30日～11月3日：特別公開 10:00～15:00
- 1 12月7日：月例一般公開 9:00～15:00
- 1 1月1日：元旦公開 9:00～15:00
- 1 1月4日：月例一般公開 9:00～15:00
- 2 2月1日：月例一般公開 9:00～15:00
- 3 3月1日：月例一般公開 9:00～15:00
- 4 4月5日：月例一般公開 9:00～15:00
- 5 5月3日：月例一般公開 9:00～15:00

寄付のお願い

大日堂の修復の為に、皆様からのご協力をお願いします。お陰様で今年度は現在までに(1/1～9/26)、修復基金として、2,244,323円のご寄付を頂く事ができました。これも皆様の温かいご支援とご理解のお陰です。ありがとうございます。修復資金のご協力は、下記へお振込み下さい。お願いします。

<横浜銀行>

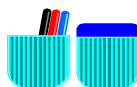
【支店名】 秦野支店 【店番号】 661
 【預金種目】 普通預金
 【口座番号】 6230560
 【口座名義】 特定非営利活動法人
 はだの大日堂保存会

編集後記

仁王門の修復が十月末には終了します。これにて令和九年三月、修復後の二王様がお帰りになっても大丈夫となりました。これもひとえに皆様のお力添えのおかげです。感謝申し上げます。今後は、大日堂本堂の屋根の修復が急務ですので、なるべく早く着手できる様に、活動して行きたいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

ご案内

- ☆はだの大日堂保存会 ホームページ
 → <http://www.minoge-bunka.org>
 → 検索サイトから「はだの大日堂保存会」で検索
- ☆お問い合わせ メールアドレス
 → info@minoge-bunka.org
- ☆お問い合わせ 電話番号
 → 0463(81)3528 (事務局 宝蓮寺内)



「はだの大日堂保存会」のQRコードです。
 ホームページ(上)
 (下) インスタグラム